




収受年月日	議長	事務局長	書記
元・9・11			
第 95 号			

発議第 2 号

令和元年 9 月 11 日

埴町議会議長 大縄 武夫 様

提出者

埴町議会議員 鈴木 宇次

賛成者

埴町議会議員 鈴木 茂

埴町議会議員 七宮 広樹

福島県立埴工業高等学校の存続に関する要望書案

上記の議案を、別紙のとおり埴町議会会議規則第 14 条第 1 項及び第 2 項の規定により提出する。



録本録

ノ

田原



福島県立塙工業高等学校の存続に関する要望書(案)

平素より塙町の教育行政につきましては、格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、平成31年2月8日に福島県教育委員会から「県立高等学校改革前期実施計画」が公表され、その中で2023年度に福島県立白河実業高等学校に工業科を集約して福島県立塙工業高等学校を統合することの計画であります。本計画は、塙町内や東白川郡内の地元企業等の人材育成の拠点として歴史と伝統を重ねてきた福島県立塙工業高等学校が事実上の廃校となることを意味しております。このことは、塙町内や東白川郡内の生徒から高校進学を選択肢を狭められるとともに、教育を受ける機会が著しく損なわれ、また工業科への進学を希望する生徒及び保護者は、今後遠距離通学による身体的、精神的そして経済的負担を強いられることになり、山間僻地である塙町の実情を無視した無謀な内容であると言わざるを得ません。

近年福島県立塙工業高等学校において、地域の伝統を継承する和太鼓部の全国大会での活躍や、高い専門教育の成果とし

て「スペースバルーンによる成層圏撮影」や全国高等学校ロボット競技大会への出場など、先進的かつ特色ある実績が顕著であり、本県の他の工業科をもつ県立高等学校と比較しても何ら劣るところはなく、再編の対象となっていない他の工業系高校の模範となる実績をあげています。

さらに、国内企業の人材確保の困難な状況が続いている近年、高等学校の統廃合は、埴町内や東白川郡内の地元企業の人材確保に大きな影響を及ぼし、今後の企業誘致活動や経営に及ぼす影響は計り知れないものとなることが予想されます。この事は地方創生に逆行する懸念があり、人口減少や地域の衰退など、地方の切り捨てとも取れる行為であり、政府の掲げる方針に大きく逆行するものであります。

つきましては、下記要望事項について「県立高等学校改革前期実施計画」の再編整備の見直しを強く要望いたします。

記

- (1)「県立高等学校改革前期実施計画」の見直しを図ること
- (2)福島県立白河実業高等学校の工業科の集約を見直し、福島県立塙工業高等学校を過疎・中山間地域の例外的措置の対象として、地域協働推進校6校とともに各学年2学級もしくは1学級においても存続させること

福島県塙町議会

(要望先) 福島県教育委員会教育長

